

## 土地所有権の成立

既存説

自然決定説

創設説

1

## 所有権の確立

### 1. 既存説とは

武家地や社寺地、町地のみならず百姓地、山林、原野などについても近代的土地所有権と同内容の土地所有権が存在していたと解する見解  
この説はかつては有力であったが、現在は少数派である。

2

## 所有権の確立

### 2. 自然決定説とは

近代的土地所有権と同一視できる権利は存在しなかった。ただ、明治5年の永代の禁の解除等の諸法令によって、それまで存在していた権利の一部が所有権に高められて、所有権が認められた。官民有区分や下戻処分は諸法令によって認められた所有権を単に確認する効果を有するにすぎない。

3

## 所有権の確立

### 3. 創設説とは

近世（織豊時代、徳川時代）においては近代的土地所有権と同一視できる権利は存在しなかった。所有権は明治政府の立法施策として創設されたものであり、官民有区分や下戻処分等は近代的土地所有権創設のための形成的効力を有する処分である。これらの処分から漏れた土地は下戻法によってことごとく国有に帰した。

裁判例、学説の多数的見解である。

4

## 国家が国民に所有権 を与えたのは何故か

実務では

5

## 地租改正の提議

神田孝平

「税法改革ノ議」  
明治2年4月

6

## 地租改正のメリット

- ① 検地・石盛、検見が不要
- ② 全ての地種の課税を単一の税法で行える
- ③ 地税が金納になる

7

## 地租改正の意義

- ④ 納税に伴う農民の負担が軽減される
- ⑤ 現物輸送に伴う運送費や途中の損失がなくなる
- ⑥ 姦吏による不正行為を防止出来る
- ⑦ 「最も国政の要件」である予算制度の導入が可能になる

8

## 明治政府の方針

国家体制の近代化には資金が必要だった。

税制は、物納をやめて金納にして現金が必要だった。

そこで**地租改正**を実施。

9

## ところが

過去の検地は各地で基準が違い、不公平だった。

検地のたびに税金が高くなっていた。

↓  
住民の協力は得られない。

↓  
そこで住民の抵抗をなくし、費用のかかる検地をせずに税制改革をしたかった。

↓  
アメが必要

10

## そこで・・

土地所有者を納税義務者として、地価に応じて課税する。

**所有者の確定**が必要だった。

そのために地券が利用された。

11

## 明治維新

明治元年12月18日  
行政官布告第1096号  
人民の土地所有を認める

明治5年2月15日  
太政官布告第50号  
土地取引の自由を認める

12

## 明治維新

明治6年7月28日

### 地租改正条例

物納→金納

13

## 土地所有権の成立

明治以前は現行法の所有権はなかった。

所持、支配・進退という支配権だけが存在した。

14

## 地所所有主取定方心得書

(明治12年1月25日)

第6条 甲村区画内ノ地所ニシテ

乙村ニ於テ進退自由仕来ルモノ

ハ・・・

15

## 地所所有主取定方心得書

(明治12年1月25日)

第8条 萱葭場等ノ地所ニシテ

一村或ハ一人植立ノ成蹟並進退

自由仕来候証跡有之モノ・・・

16

## 土地丈量心得書

(明治12年1月25日)

第2条 地所番号ノ儀ハ從來ノ番号ニ拘ワラス更ニ一村ノ地所ヲ一貫トシ本田畑宅地其他大縄場等ハ勿論神社境内地墓地不定地域ハ山林原野海岸空地等ノ各種類ニ至迄官民有ヲ問ハス有税無税ニ関セス道路堤塘河川溝渠ヲ除キ一村進退ノ地ハ悉皆地続キヲ以テ一筆限り押番ヲ附スヘキ事

## 「下戻法」

明治32年4月

官民有区分の最終是正立法

「国有土地森林原野下戻法」

地租改正の際に誤って官有地に編入された土地について下戻しの申請があとを断たなかったので、国有財産の整理と営林事業の計画の必要から下戻し申請ができる期限を設けたものである

17

18

## 「下戻法」

「国有土地森林原野下戻法」

第4条 「下戻ヲ受ケタル者ハ其ノ下戻ニ因リテ所有又ハ分収ノ権利ヲ取得ス」

このあとは一切下戻しを許可しなかった。

## 宮崎県山林特別処分例

宮崎県にだけ適用する法律

それでもほとんど下げ戻しはされなかった

19

20

## 明治維新

明治維新は大化の改新を意識していた  
天皇中心の中央集権制

21

## 大化の改新

大化の改新とは中大兄皇子と中臣  
鎌足が蘇我氏を滅ぼした事件のこ  
とではない

・それは乙巳の変（645）

22

## 大化の改新

律令制による  
天皇中心の  
中央集権国家

公地公民制

23

## 大化の改新

班田収授法

…**戸籍**、土地（口分田）の整備  
…**戸籍**に登録された者に口分田を  
与え税を取る

6年に1度、子年（ねどし）と午年（う  
まどし）に見直しをする

新税制…租庸調

24

### 明治憲法草案の審議でも・・

明治21年憲法草案の審議が枢密院で始まる。

審議が「臣民の権利義務」に入った時の枢密院議長 伊藤博文と初代文部大臣の森有札（ありのり）のやりとり

25

### 森

「権利・義務」という文字を憲法に記載するのはおかしい、「臣民の分際（ぶざい）」に修正せよ。臣民は天皇に対する言葉で、臣民は天皇に対しては独り分限を有し、責任を有するものにして権利にあらざる。

26

### 森

「国民の義務」に変えろ

27

### 伊藤

憲法を憲法を創設する精神は  
第1に君主の権力を制限し、  
第2に臣民の権利を保護すること  
にある。

28

## 伊藤

故にもし憲法に臣民の権利を列記せず、ただ責任のみを記載するならわざわざ憲法を設ける必要などない。臣民には無限の責任がある。君主には無限の権力がある。こういうものを称して君主専制国という。憲法から権利義務を除く時には憲法は人民の保護者であることができない。

29

## まさしく伊東の言うとおり

近代立憲主義は、それ以前に比べ強大な権力が集中するようになった国家の力を制限し国民の近代的自由を基礎づけるために誕生した。

30

## ところが・・・

明治憲法は天皇を統治権者とする国家体制と抱き合わせで立憲主義を取り入れたのであり、

国民の権利の保障は人が生まれながらに有する自然権としてではなく、  
天皇から恩恵的に付与されたものとされた。

31

## 森の真意

臣民の財産及び言論の自由等は人民の天然所持する所のものであって、憲法において是等の権理（利）始めて生まれたるものの如く唱ふることは不可なるか如し

32



## 森の真意

つまり森の主張は  
人間に固有の自由権はいかなる実定  
法にもいかなる権力体系にも包含さ  
れぬ事実上の権利として前提されて  
おり、それを日本の「国体」の特殊  
性のもとでいかに公的な権力関係と  
して規律するかという立場であった。

33

## 国体の特殊性

万世一系の天皇のもとに統治され  
忠孝を至高の徳目とする国家観

34

## 明治維新の思想

尊皇攘夷

天皇を中心にせざるを得ない

35

## 明治維新

大政奉還

王政復古

36

## 明治憲法

# 欽定憲法

## 特別ノ恩典

明治13年2月17日司法省内訓

明治五年第五〇号布告以前ニアリテハ凡ソ土地ナルモノハ人民ノ私有ニアラザリシハ固ヨリ言フ俊々ザルナリ、故ニ人民ハ唯之ヲ使用シテ其ノ利得ヲ収納セルニ過ギザリニ、該布告ヲ以テ始メテ其借有土地ヲ各人民ノ私有ニ歸セシメタルハ実ニ行政上特別ノ恩典ニ出デタルモノトス

37

38

## 土地制度の四大改革事業

1. 大化の改新
2. 太閤検地
3. 地租改正
4. 農地解放

## 地租改正のメリット

後日の国の報告

「地券ヲ発スルノ益」

39

40

### 地券ヲ発スルノ益

- ①所有権を確定して紛争を防ぐ。政府でも公益の爲以外は買い取ること  
は出来ない。
- ②資産をどれくらい有するか明らかに  
して勤労の意欲を励ます。
- ③検地が必要無くなり境界も確定す  
る

41

### 地券ヲ発スルノ益

- ④旧藩制の間年限を決めて地所割替  
えをして人民は一定の所有地がない  
と言う旧習を改める。

↓

地所（作所）割替え

42

### 地券ヲ発スルノ益

人民の立場の利益ばかりではない  
国にも大きな利益がある。

- ①国の面積が分かり
- ②地価を決めることにより租税が分  
かる
- ③地租を増減し或いは県制を更正し
- ④兵役徴収の割り振りを概算できる

43

### 宮崎の作所割替え制度

一つの門ごとに、3～5年（10年、  
20年というところもある）に1回  
それぞれの耕作地を入れ替える制度  
門割制度ともいう

鬭割（クジワリ）・・・あらかじめ土地  
ごとに面積、収穫高などを決めておき  
クジで場所を決める

44

## 宮崎の作所割替え制度

鬩割り

明治7年4月

「地租改正に付人民心得」第6条

45

## 「地租改正に付人民心得」第6条

従前用來候反別ハ往古ノ検地帳或ハ鬩割帳等ニ拠リ候事ニテ、検地ハ土地ニ寄地所ノ余歩ヲ取ルニ種々ノ方法アリ、又古今ノ規則一ナラス、鬩割帳ハ村方限リニテ調タル帳簿モアレハ誤来レルモノ少カラス、惣テ年曆ヲ経天災地変等ノ為ニ帳簿上ト実地ト大ニ相違イタシ、或ハ広ク或ハ地詰リニナリ来レルモノ多ケレハ、御規則第二則ノ通り是迄ノ帳簿ニ拠ル時ハ地ノ広狭適実ナラス、隠ニ地価ノ昂低ヲナシ其相当ヲ失ヒ候ニ付、現今所有スル所ノ現歩ヲ更ニ精密ニ取調、別紙雛形ノ振合ニ字一筆限ノ地図ヲ製シ、然シテ一村ノ惣絵図ヲ仕立、之ヲ以テ根拠トシ諸事取調可致事

46

## 「府県地租改正紀要」

第四条 舊封土及舊税ノ概況

「・・・飢肥藩ハ豊臣氏ノ時・・・封ヲ受ケ・・・其耕地ハ一村人民ノ割替作付地ニシテ定主ナシ・・・延岡高鍋及幕府領各々小異アリト雖トモ大抵飢肥領同一・・・」

47

## 作所割替え制度の影響

どのように所有者を確定させて地券交付をしていたのか

当時の宮崎県の実情を記載した文書はまだ見あたらない

明治5年8月大蔵省達第118号  
「不定地年季ヲ定メ割替致候伺ハ向後持主相定可申立事」

地租寮改正局日報  
「券状相渡候節ハ今日迄持来候地所ヲ以永代之持地ト定メ」

48

## 作所割替え制度の影響

隠田もなかったのではないだろうか

住民の土地に対する執着心はそれほど大きくはないのではないだろうか

また、山林原野の入会地と同じで、土地は領主様のものであり借り物という意識しかなかったのではないだろうか

支配進退の概念しかなかった。

49

## その後の割替え制度

### 石川県の例

村民の契約で割替え制度を続けた

50

## 宮崎の納税システム

### 惣村・村請け

時代劇の年貢取立ては宮崎ではありえない

代官－（大庄屋）－村（庄屋）－門（弁指）－組（組頭）－高請・百姓

51

## 地租改正の批判

福沢諭吉  
土地所有権を認めた認めたことは  
「明治政府の一大失策」と断じた

52

### 地租改正の批判

西欧・「土地は人民のもの」  
日本・「土地は君主のもの」

53

### 土地所有権の批判

司馬遼太郎

自分の土地を自由に利用して  
は人の迷惑を考えない。所有  
権はダメだ  
土地は本来国有であるもの

54

### 先輩の一言

ふるさとの山河を知り、  
愛さなければ  
本当の土地家屋調査士  
にはなれない

55

56